

平成 20 年度施策評価表

① 総合計画	まちづくりの目標	2 章 安全・安心で快適な住みよいまち（都市基盤の整備）			
	施策（大柱）	7 節 河川・治水	H20 実施計画事業費合計	250,195 千円	※「H20実施計画事業費合計」は、当該計画に主要な事業と位置づけられた事務事業について、各施策、各中柱でそれぞれ合計した事業費です。
	中柱	1 治水対策の強化		227,611 千円	
		2 保水機能の保持		0 千円	
		3 河川・水路機能の充実		22,584 千円	
			千円		
施策に係る所属	河川課、生活環境課				

② 施策の概要	1) 基本方針及び施策の目的
	○台風や大雨などに対応するため、河川・水路の改修整備や調節池を築造し、浸水被害の防止に取り組む。 ○開発事業者への適正指導などによる雨水流出対策や、河川・水路敷の緑地保全により、自然の持つ水循環の回復をめざす。 ○河川・水路を良好な状態に維持管理するとともに、市民との協働をはかり、親水空間の整備を進める。
	2) 施策の具体的な内容及び実施方法
	○治水対策の強化 自然環境に配慮して、河川・水路を効率的に改修整備する。また、流量調節を行うため調節池の築造を進める。○保水機能の保持 開発の規模に応じ、調整池や浸透ますなどの貯留浸透施設の設置を指導する。また、保水機能を保持するため河川、水路の緑地を保全する。○河川・水路機能の充実 排水機能の向上などのため、河川・水路の清掃、除草、修繕などを進めるとともに水質汚染などの防止のため生活排水の接続を適正に指導する。また、市民との協働を図り、水辺に親しみ憩える河川・水路敷の環境整備に取り組む。
	3) 分野別計画、指針
○所沢市街づくり基本方針 ○所沢市環境基本計画	

③ 優先的に取り組む事業	4) 関連・類似施策				
	○1-5環境保全				
	5) 施策に対する市民ニーズ				
	『平成19年度所沢市市民意識調査』（20歳以上の男女、無作為抽出による2000人を対象とし、平成19年11月に実施。831人より回収。）における、全43施策についての市民要望の確認（複数回答可）の結果です。				
	6) 施策に係る基礎数値				
	項目名	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度
	河川・水路改修工事	m	489	232	55
	調節池築造工事	m ²	3,100	4,000	4,400
	河川・水路清掃	m	3,388	3,440	3,487
	河川・水路除草	m ²	19,729	27,020	33,977
	雨水流出抑制指導	件	91	101	87

	事務事業名	成果指標名	指標の説明	単位	H19目標	H19実績	達成率%	将来目標

※「優先的に取り組む事業」とは、第4次所沢市総合計画・実施計画において、特に優先的に資源配分を行うとしたAランク事業のことです。H19年度でのAランク事業は、全体として67事業です。なお、この欄には、これらAランク事業の中で、「①総合計画一中柱」に位置づけられたものが記入されます。

④ 5年後の目標／成果指標	指標名	説明	単位	基準値	H18	H19	H20	H21	H22	将来目標		
	【5年後の目標】河川・水路の整備延長	台風等の大雨時に浸水被害が発生しやすい状況を改善するための取組状況を示す指標	m	年度	16	52,576	52,899	52,939	53,289	53,868	年度	
				実績値	実績値	52,651	52,706	実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2		1	目標値	
				%	達成率	100.1%	99.6%				53,868	
					年度	目標値					年度	
					実績値	実績値			実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2			目標値
					%	達成率						
					年度	目標値					年度	
					実績値	実績値			実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2			目標値
					%	達成率						
				年度	目標値					年度		
				実績値	実績値			実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2			目標値	
				%	達成率							

⑤ 平成19年度中に取り組んだ改革・改善点や、新たに実施した事業等、特徴的な取り組み
コスト削減を考慮した多自然型河川改修に努めた。開発行為対象以外についても雨水抑制施設の設置をお願いした。昨年に引き続き、生活環境課と河川・水路の清掃、除草箇所に関する情報交換を深め、効率的に作業を実施した。

⑥ 評価（課題及び目標方向性）	1) 平成19年度評価により明らかとなった課題、及び新たに認識された課題	現在の進捗状況				
	自然環境に配慮した川づくり	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
	自治会等との協働による、地域に根づいた川づくり	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input checked="" type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
		<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
		<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向

2) 平成20年度における目標設定	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)
	河川・水路改修整備工事の施工	延長233m改修整備する	平成20年度内
	日比田水路第1調節池拡張工事の施工	貯留量5,500m ³ 拡張する	平成20年度内

3) 今後の方向性（事務事業の重点化・効率化、実施手段の見直し、他施策との連携、市民との協働 など）
都市化の進展に伴い、保水機能を有する畑や山林が減少し、雨水が短時間に河川・水路へ流入することから、氾濫が発生し易い状況にある。その対策として市内すべての河川・水路の改修整備を行うには相当な年月と膨大な費用を要する。このため、特に浸水被害の発生し易い箇所及び護岸の崩壊の恐れのある箇所について、住民の安全及び財産を守るため、重点的に整備促進する必要がある。また、河川・水路の氾濫防止及び、地下水の涵養の観点からも雨水流出抑制の指導を継続的に実施する必要がある。
評価日 平成20年8月7日 記入者職氏名 下水道部 河野 清康